

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/2 >

参考値

(データ集約 : 8/26)

採取場所	福島第一 西門		福島第二 MP - 1 (参考)		/		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) ²
試料採取日時刻	平成23年8月25日 7時00分 ~ 12時00分		平成23年8月25日 9時40分 ~ 9時50分		/		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	/	/	
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	/	/	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	/	/	3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

福島第一 西門における検出限界値は次の通り。

揮発性の I-131 が約 1E-7 Bq/cm³、Cs-134 が約 3E-7 Bq/cm³、Cs-137 が約 4E-7 Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 8E-8 Bq/cm³、Cs-134 が約 2E-7 Bq/cm³、Cs-137 が約 2E-7 Bq/cm³。

福島第二 MP - 1 における検出限界値は次の通り。

揮発性の I-131 が約 2E-6 Bq/cm³、Cs-134 が約 4E-6 Bq/cm³、Cs-137 が約 3E-6 Bq/cm³。

粒子状の I-131 が約 9E-7 Bq/cm³、Cs-134 が約 2E-6 Bq/cm³、Cs-137 が約 2E-6 Bq/cm³。

発電所敷地内における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/2 >

参考値

(データ集約 : 8/26)

採取場所	福島第一 1号機北側法面上		福島第一 1, 2号機西側法面上		福島第一 3, 4号機西側法面上		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) ²
試料採取日時刻	平成23年8月25日 10時21分 ~ 15時21分		平成23年8月25日 10時12分 ~ 15時12分		平成23年8月25日 10時05分 ~ 15時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ^{1 3} (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	
Cs-134 (約2年)	6.4E-06	0.00	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	7.1E-06	0.00	ND	-	ND	-	3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

3 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約6E-6Bq/cm³、Cs-137が約6E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約1E-6Bq/cm³、Cs-134が約3E-6Bq/cm³、Cs-137が約3E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。